

製品名: YAP (リン酸化 Ser127) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21109**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:55kD;Observed MW:55kD

抗原情報

遺伝子名	YAP1
別名	YAP1;YAP65;Yorkie homolog;65 kDa Yes-associated protein;YAP65
遺伝子 ID	10413
SwissProt ID	P46937
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

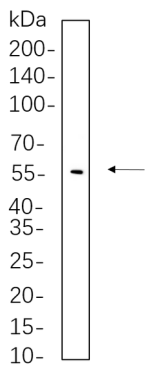
細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子は、発生、成長、修復、および恒常性維持に関与する Hippo シグナル伝達経路の下流核エフェクターをコードしています。この遺伝子は、このシグナル伝達経路の転写調節因子として、複数の癌の発生および進行に関与すること

が知られており、癌治療の潜在的な標的となる可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



Hela 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を YAP (リン酸化 Ser127) ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。